

一般教養（国語編） 一問一答

大阪大谷大学 Yゼミ HT作成

四字熟語

問1：自分の都合の良いように物事を進めること。

四字熟語

問1：自分の都合の良いように物事を進めること。

→ **我田引水**

四字熟語

問2：自分の意見がなく、
他人の意見にやみくもに従うこと。

四字熟語

問2：自分の意見がなく、
他人の意見にやみくもに従うこと。

→ **付和雷同**

四字熟語

問3：ばらばらに乱れていてまとまりがない状態。

四字熟語

問3：ばらばらに乱れていてまとまりがない状態。

→ **支離滅裂**

四字熟語

問4：思う存分（自由自在）にすること。

四字熟語

問4：思う存分（自由自在）にすること。

→**縦横無尽**

四字熟語

問5：小さいことを大きさに言うこと。

四字熟語

問5：小さいことを大きさに言うこと。

→**針小棒大**

四字熟語

問6：迷って思考や方針がまとまらないこと。

四字熟語

問6：迷って思考や方針がまとまらないこと。

→ **五里霧中**

慣用句・ことわざ

問1：相手の出方や心次第で
こちらの対応の仕方も変わる。

慣用句・ことわざ

問1：相手の出方や心次第で
こちらの対応の仕方も変わる。

→ **魚心あれば水心**

慣用句・ことわざ

問2：金額が不足する。

慣用句・ことわざ

問2：金額が不足する。

→ **足が出る**

慣用句・ことわざ

問3：優れた能力のある人は、
それを誇示したりはしないこと。

慣用句・ことわざ

問3：優れた能力のある人は、
それを誇示したりはしないこと。

→ **能ある鷹は爪を隠す**

慣用句・ことわざ

問4：自分の悪行によって、
自分が苦しみや災いを受けること。

慣用句・ことわざ

問4：自分の悪行によって、
自分が苦しみや災いを受けること。

→ **身から出た錆**

慣用句・ことわざ

問5：力なくしおれていること。

慣用句・ことわざ

問5：力なくしおれていること。

→**青菜に塩**

慣用句・ことわざ

問6：手ごたえや張りがないこと。

慣用句・ことわざ

問6：手ごたえや張りがないこと。

→**のれんに腕押し**

似た意味のことわざ「ぬかに釘」「豆腐にかすがい」

慣用句・ことわざ

問7：人のことばかりに忙しくして、
自分の事には手が回らないこと。

慣用句・ことわざ

問7：人のことばかりに忙しくして、
自分の事には手が回らないこと。

→**紺屋の白袴**

似た意味のことわざ「医者の不養生」

日本文学史

問1：『曾根崎心中』

日本文学史

問1：『曾根崎心中』

→ **近松門左衛門**

日本文学史

問2：『東海道中膝栗毛』

日本文学史

問2：『東海道中膝栗毛』

→ **十返舎一九**

日本文学史

問3：『伊豆の踊子』 『雪国』

日本文学史

問3：『伊豆の踊子』 『雪国』

→ **川端康成**

日本文学史

問4：『破壊』 『夜明け前』

日本文学史

問4：『破壊』 『夜明け前』

→ **島崎藤村**

日本文学史

問5：『濁り絵』 『たけくらべ』

日本文学史

問5：『濁り絵』 『たけくらべ』

→ **樋口一葉**

日本文学史

問6：『浮雲』

日本文学史

問6：『浮雲』

→ **二葉亭四迷**

日本文学史

問7：『風立ちぬ』

日本文学史

問7：『風立ちぬ』

→堀辰雄

日本文学史

問8：『暗夜行路』

日本文学史

問8：『暗夜行路』

→ **志賀直哉**

日本文学史

問8：『小説神髓』

日本文学史

問8：『小説神髓』

→坪内逍遙